

# おうちでコスモスを 楽しめませう

## AR動画の視聴方法



ARマーク 飯南町HP QRコード  
広報いーなんでは、AR（拡張現実）動画を導入しています。詳しい視聴方法は、飯南町ホームページでご紹介しています。（今月号はこの記事に対応写真があります）



今年のは志津見地区のコスモス祭が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。「コスモスの花を楽しめなかつた」という人は、「AR動画」でコスモスが咲き誇る様子をお楽しみください。

# 母子父子寡婦福祉資金 予約貸付受付中

- **申込期限** 令和3年2月末
- **児童の進学等に関する資金**（貸付は、いずれも無利子）
  - **対象** 令和3年4月の進学を希望する人で、母子家庭の母か父子家庭の父が扶養する児童、父母のいない児童、寡婦が扶養する子
  - ① **修学資金** 高等学校、大学、大学院、高等専門学校、専修学校の修学に必要な資金（授業料、書籍代、交通費など）
  - ② **修業資金** 就職に必要な知識技能の習得に必要な資金
- **母子家庭の母、父子家庭の父や寡婦の知識技能習得に関する資金**（連帯保証人あり：無利子、なし：年1%）
  - **対象** 母子家庭の母、父子家庭の父、寡婦
  - ① **技能習得資金** 就職に必要な知識技能の習得に必要な資金
  - ② **他制度による奨学金の貸与を受けようとする人**は、児童の進学等を対象とする資金の対象となりません。必要書類等の詳細はお問い合わせください。
- **問合せ** 福祉事務所 電話72・1773

# 総合振興計画等評価委員会答申

「第2次総合振興計画前期基本計画」「第1期総合戦略」2つの計画で定めた施策（数値目標）の進捗や成果などを評価員会（大島健委員長）で評価し、9月11日に答申書が提出されました。

評価委員会での意見は、来年度事業の組み立てに反映していきます。主な意見は下記のとおりです。（詳細は飯南町のホームページに記載）。

## 総合振興計画等目標指標の状況（主な指標）

目標指標	基準値(H26)	実績値	目標値(R1)
出生数	137人/5年 年27.4人(H22-26)	119人/5年 年23.8人(H27-R1)	180人/5年 年36人(H27-R1)
社会増減数※1	-13.2人/年 (H22-26)	±0人/年 (H27-R1)	+5人/年 (H27-R1)
婚姻数	14組/年 (H22-26)	14.6組/年 (H27-R1)	20件/年 (H27-R1)
Uターン移住者数	35人/年 (H22-26)	47.4人/年 (H27-R1)	53人/年 (H27-R1)
飯南高校生徒数	188人	189人/年 (H27-R1)	180人以上

※1 社会増減数とは、転入から転出を差し引いた数



子育て支援センター「ほっと.Café」

● **子どもの遊び場**  
「子どもを遊ばせる場所がない」という声を聞く。地元の人と観光客と一緒に遊ぶことができる場所を作ってほしい。

● **結婚・若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる**  
● **結婚・出産祝い金、子ども医療費無料、保育料軽減**  
・結婚から出産・育児まで制度が大変充実しているが、これらを外部へ発信していない。

● **子どもを遊ばせる場所がない**

● **結婚・出産祝い金、子ども医療費無料、保育料軽減**

● **結婚から出産・育児まで制度が大変充実しているが、これらを外部へ発信していない。**

● **子どもを遊ばせる場所がない**

● **子どもを遊ばせる場所がない**

● **子どもを遊ばせる場所がない**

● **子どもを遊ばせる場所がない**

● **子どもを遊ばせる場所がない**

● **子どもを遊ばせる場所がない**

● **子どもを遊ばせる場所がない**

● **子どもを遊ばせる場所がない**

● **子どもを遊ばせる場所がない**

● **子どもを遊ばせる場所がない**

● **子どもを遊ばせる場所がない**

● **子どもを遊ばせる場所がない**

● **子どもを遊ばせる場所がない**

● **子どもを遊ばせる場所がない**

● **子どもを遊ばせる場所がない**

● **子どもを遊ばせる場所がない**

● **子どもを遊ばせる場所がない**

● **子どもを遊ばせる場所がない**

● **子どもを遊ばせる場所がない**

● **子どもを遊ばせる場所がない**

● **子どもを遊ばせる場所がない**

● **子どもを遊ばせる場所がない**

● **子どもを遊ばせる場所がない**

# ま ちを元気に！ 地域おこし協力隊

飯南町内のさまざまな地域課題の解決に取り組む「地域おこし協力隊」の活動を紹介します。今月は、「コロナ禍の協力隊活動を報告します」。

地域おこし協力隊は制度の性質上、たくさんの人と関わりを持ち、話し合いや交流を通して活動を進めていく必要があります。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、従来通りの活動ができない状況です。さまざまなイベントや多人数での集まりが開催できない中、協力隊活動を進める難しさを痛感することも。



協力隊員同士の交流を深めました



7月で退任の栃木健吾さん(左)と加集淳子さん(中)、8月で退任の山本かおりさん(右)

このような状況でも、隊員一人一人が工夫を凝らし、新しい地域活性化策を模索し、まちを元気にする活動に取り組んでいます。

9月9日には、県内各地の協力隊員約30人が、オンラインでスキルアップ研修に参加。例年とは違う環境で悩みやノウハウを共有し、専門的なアドバイスを受けました。今後の活動に活かしていきます。

令和2年度は6人の隊員でスタートしましたが、そのうち3人は8月末までに、3年の任期を満了しました。退任した3人の隊員は、引き続き町内に住み、仕事をしながら、まちの活性化に貢献しています。

## 施策2 飯南町への新しいUターンの流れをつくる

● **U・Iターンの魅力発掘**

・この市町村も定住対策をしているが、本町は、担当者の対応の良さとメディアでの露出により注目され、効果も出ている。

● **住宅整備助成金**

・町外のハウスメーカーへの発注が多くなっているため、地域の工務店に戻すことが必要。住宅整備などの支援策を強化してほしい。

## 施策3 飯南町でこそ暮らせる「Uターン」を促す

● **畜産業再生**

・農家の高齢化により牛を手放したという人が増えている。反対に、牛を飼いたい人は出てこない。町としての対策を検討してほしい。

● **公共サービス民営化**

・行政がスリムになるだけのアウトソーシングは、雇用の拡大につながらない場合がある。企業の事業拡大や雇用確保となるような方法を考えて進めてほしい。

## 施策4 安心・快適に暮らせる「まけ」を促す

● **医療・介護人材育成**

・スタッフを集めることとあわせて、働く人のモチベーションが高まる対策を行ってほしい。

・全国の医師と連携し、リモートで、その都度空いている医師が患者を診ることができないか。行政も内部だけでなく、外部との連携を進めていく時期である。

● **国際人材育成**

・コロナ禍のため海外へ行くことは難しいが、リモートで海外の人と交流する機会などを考えて欲しい。



県種畜共進会